

食生活ジャーナリストの会・2012年度

## 第6回 勉強会のお知らせ

# 「メタボリックシンドロームと遺伝子」

## ～分子栄養学から見た生活習慣病のしくみと今後～

例えば、同じものを食べても太る人と太らない人がいたり、高血圧で減塩効果が上がる人と上がらない人がいたり…。それらは、とかく体質などで片付けられがちですが、実は個人の遺伝情報に基づいた科学的な根拠があります。近年、ヒトゲノムが解明されたことで生命科学が飛躍的に進展し、生活習慣病についても、その成り立ちが立証されてきています。医療分野では個人の遺伝情報に基づいたテーラーメイド医療が開始されており、テーラーメイド栄養学の方向性も示唆されるようになりました。

今回は、女子栄養大学名誉教授の佐久間慶子先生をお招きし、分子栄養学の立場から、特に肥満を鍵に、生活習慣病を解明していただきます。日本人は肥満と糖尿病の発症率が欧米人より高いといわれますが、それはなぜ？ 驚くほど複雑精緻な人体のしくみ、肥満がなぜ生活習慣病予防において重要視されるのか、予防の手だてはあるのか等々、今、食にかかわる私たちが知るべき科学的根拠に基づいた最新情報を得る貴重な場です。

席に限りがありますので、ふるって、早めにお申し込みください。

- 講師 佐久間 慶子氏(女子栄養大学名誉教授)
- 日時 11月29日(木)18:30～20:00(質疑応答約30分を含む)
- 場所 東京ウィメンズプラザ 第1会議室  
東京都渋谷区神宮前5-53-67 電話 03-5467-1711  
地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道駅」徒歩7分
- 参加費 JAJA 会員の方は無料
- 申し込み 先着順40人 JFJ事務局 電話&FAX:042-554-3887  
e-mail:[jfj-shoku@t-net.ne.jp](mailto:jfj-shoku@t-net.ne.jp)